



月山朝日観光協会イメージ  
キャラクター「ガッさん」

NETWORK

# にしかわ

2024

令和6年

4月号

No.817



## 主な内容

P2 | 西川小学校新1年生紹介

P6 | 特集 令和6年度当初予算紹介

P14 | 地域とともに歩む西川町立病院

町立病院の生き残りは令和9年度に決まります！

後悔しないようにご利用をお願いします！





いとう ゆうた  
伊藤 夕詩



いとう まさき  
伊藤 真咲



ふるさわ ゆあ  
古沢 唯愛



いいの わかな  
飯野 和奏



いとう とみひさ  
伊藤 登美久



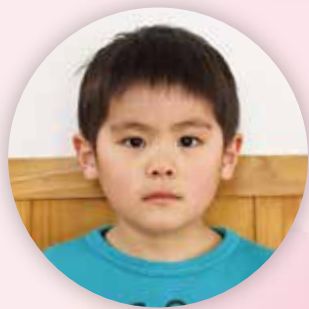
そう いえじん  
宋 耶真



いとう あさ  
伊藤 愛紗



おくやま そうた  
奥山 創太



わだ なつ  
和田 凪夏



さとう のの  
佐藤 紫乃



あらみや いつき  
新宮 稜輝



たかはし かほ  
高橋 香帆



おおた よう  
太田 謡



あきば てつはる  
秋場 徹晴



たかはし ゆうき  
高橋 紬希

ご入学、  
おめでとう  
ございます！



すずき りん  
鈴木 りん



くどう だいち  
工藤 大智



さとう そよ  
佐藤 想依



あらかき そうが  
荒木 蒼雅



ふるさわ はる  
古沢 陽



たかはし しづき  
高橋 志月



西川小学校の新しい仲間たち

西川小学校に今年、22人（男11人・女11人）の元気な子どもたちが仲間入りしました。笑顔あふれる新入生の皆さんをご紹介します。





菅野大志の

## 「いどばた会議」vol.21

まちづくりに関する活動や近況などを  
西川町長・菅野大志が綴ります。

# 今月の大ニュース!

『令和5年度の出生は10人！

一方、小学校に5名の転入生！人の流れが出てきたぞ!』

ご登録お願いします！



▲町公式LINE



▲オープンチャット

### 1. 町の総合計画の進捗良好！10年後に人口増も？

就任して2年、町民の皆さまのご協力、職員の頑張りにより、町の中期計画は、うまく進捗しています。このまま進捗すれば、10年後（2034年）に人口増も夢ではありません。

### 2. 予算は過去最高も財源調達が成功→貯金取崩は半減→健全な財政確保

令和6年度予算（74億円）が賛成多数でご承認いただきました。地域の課題、町民の皆さまの悩みを解決するには、お金と人が必要であり、お金がないと何もできません。

金庫番の財務省での経験を活かし、使える補助金は獲得して町の貯金を貯めるとともに、長期的に健全な財政を運営しています【図1】。今年度は、稼ぐ力（観光・産業振興）を更に育てつつ、課題を抱える農業への投資も行い、地域支援・子育て・高齢者支援政策を進めています。

今回の予算策定では、財源を確保して、生活の利便性を上げる取組をしています。

**例:**地域交通を守るのは、月山観光タクシーさん1社のみです。人材を確保すれば、福祉バスもデマンドタクシーも利用拡充できます。しかし、そのためには、人が集まるような給与でなければなりません。このため、国の制度（特別交付税、集落支援員制度）を徹底研究した結果【図2】、町の負担を変えずに、地域交通予算を昨年比 1.5 倍増とすることができました。やればできます！



▲国の補助金に果敢にチャレンジ

### 3. 町民の皆さま、西川町建設クラブからいただいた義援金を志賀町長に届けました！

この度の能登地震で、最大震度7を観測した石川県志賀町を訪問。縁があり企業版ふるさと納税を活用した両町協働事業をつくれなにか!とお声がけいただき、稲岡町長と協働事業について話し合いました。西川町への期待は、企業版ふるさと納税を活用した志賀町支援!頼られたら応える!また、西川町の皆さまからいただいた義援金をお届けしました。西川町建設クラブの皆さま、寒い中、募金活動を行ってくれた、ママさんの有志団体「ママαs」の皆さま、ありがとうございました。



▲西川町建設クラブから寄附



▲ママαsさんの募金活動

### 4. 地域のお悩みをお聞きする機会を頂き、感謝です！

これまで西川を支えてくれた高齢者が安心して暮らせる生活を目指します。このためには、対話により地域の意見を聞くこと。先日は、海味のドリームクラブさんと30人分のオムライスをつくりました。その際、免許返納後の生活の足を充実するような要望もいただきました。

午後のデマンドタクシーを増やせないのは、ドライバーの確保と乗合が推進できていないこと。前者は、国の補助を調べつくして交通関係の予算を増やすこと、後者は、デマンド利用者の生活パターンを調査分析する必要があります。仮説になりますが、町立病院へ通院されている方に対して、可能な限り地域ごとに通院曜日を決めて計画的に送迎したいと考えています。それには、生活パターンを理解するための個別の対話が必要になります。大変ですが、向き合わなくてははいけない。



▲志賀町・稲岡町長へ

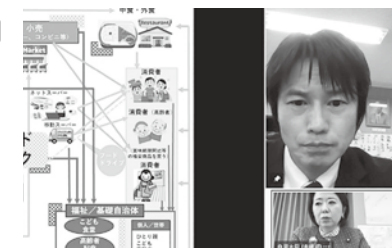


▲ドリームクラブさんとオムライス作り

### 5. 西川町の取組が全国に報道され、地方創生大臣と意見交換！

西川町は、対話による地域課題をみつけ、それを解決できる民間を調べ、財源を見つけつつ、職員を育成する取組が功を奏し、視察が増えてきました。

また、「提言の広場」等報道が増えたことにより、自民党政務調査会で発表する機会もいただきました。そこでは、政策の実現力とスピードに関して、牧島かれん前デジタル大臣からご質問いただきました。また、自見はなこ地方創生大臣と個別に意見交換することもできました。取組が評価されたことにより、4月からは視察料もいただくほか、県外からも職員採用試験に受験してくれるようになりました。このように新たな人とお金の流れを大きくするよう反復してまいります。



▲自見大臣とのオンライン意見交換

### 6. 就任3年目！課題山積ですが、行政経験を活かし中期的には理解いただけるよう頑張ります

時には、町の政策に理解いただけないこともあると思います。例えば、1月のキャッシュレス決済キャンペーン。これは、年末にある販売店の撤退情報が持ち込まれました。しかし、当時、これを公開することができません。町としては、生活に大きな影響が与えるため、しっかり対応しなくてはなりません。このため、町は、できるだけ経済効果が多く、財源を効果的に使い、町外を含めた購買力を増やす事業として、キャッシュレス事業を企画し、なんとか解決することができました。

「なるほど、そういうことだったのか!」と後になってご理解いただけるよう、私も町も信頼していただけるよう実績を積み重ね、政治家として決断してまいります。まもなく就任して3年目を迎えます。今年度も何卒よろしくお願いいたします。

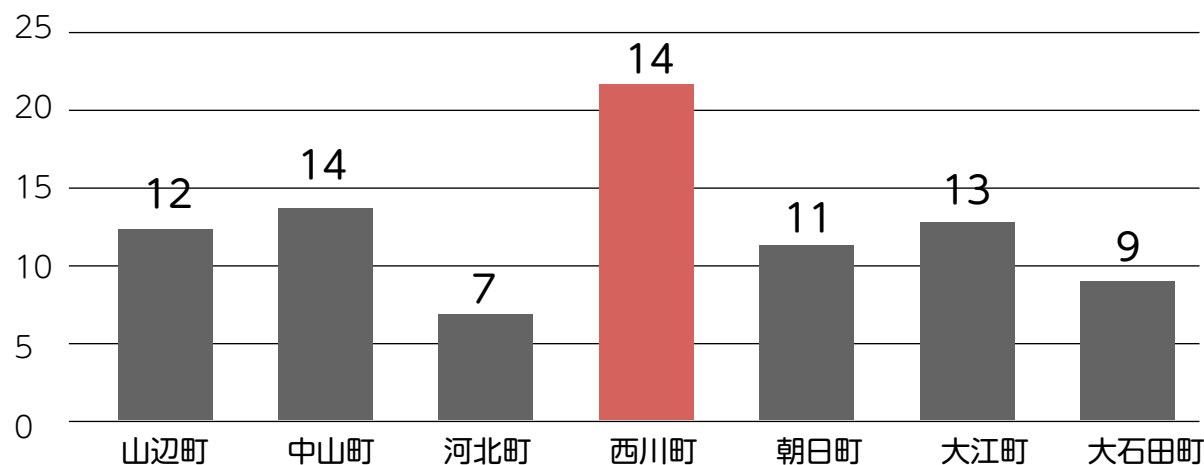


▲牧島前デジタル大臣から質問



▲平将明副大臣(右)とゲスト出演

■図1：令和4年度の村山地方の財政調整基金と減債基金の合計（単位：億円）



■図2：バスの運営費に関する国の特定財源補助を活用

	特定財源としての補助	合計のバス台数は変えず、内訳を変える
スクールバス	なし	少なく(町営バスでも使っている車両は町営バスに)
町営バス	赤字の8割を補助	大きく(唯一バス会社を守るための予算措置)
福祉バス	なし→全額補助	地域に欠かせない運転手と認定され2人分全額補助



## 特集 令和6年度当初予算紹介

# 町の挑戦！生産年齢人口令和12年度までに増加！

～対話でお聞きした事業を速やかに実行し、日本中に西川町を発信！～

令和5年度に策定した第7次西川町総合計画において、町は令和12年度までに目指す町の姿と5つの基本目標を掲げています。目標達成を目指して編成した令和6年度当初予算の概要を紹介します。

## 令和6年度当初予算は74億7,800万円

令和6年度の当初予算は、前年度比12.3%増の74億7,800万円で過去最大となりました。補助金やふるさと寄附金などを活用し、町の貯金の取崩を抑えていきます。

# 74.8億円

前年度：66億5,800万円  
前年度比：+12.3% (+8.2億円)

一般会計当初予算額の推移

令和6年度	74.8億円
令和5年度	66.6億円
令和4年度	56.1億円

### ここがポイント！

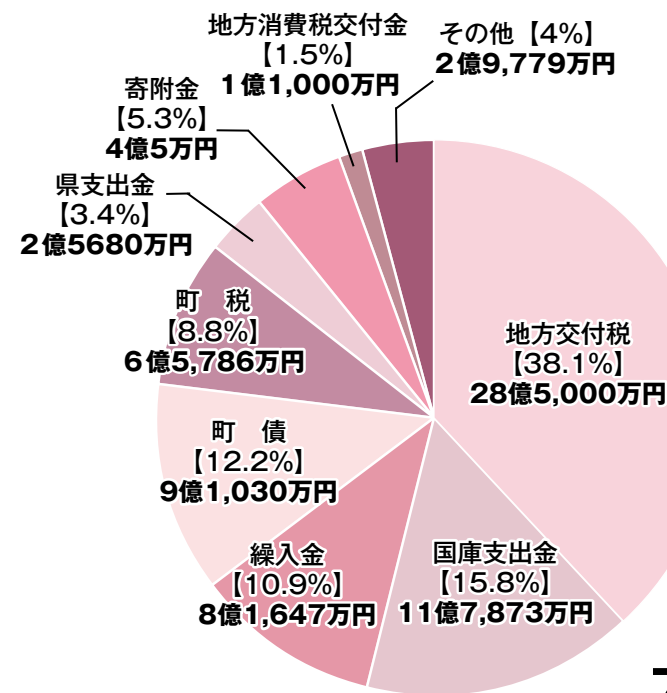
- ・年間44回の対話会、各区からの要望、町民ニーズ、市場調査を十分に反映
- ・徹底した補助金活用による財源確保
- ・予算総額が大幅に増加→町の基金(預金)の取崩額を大幅に減少



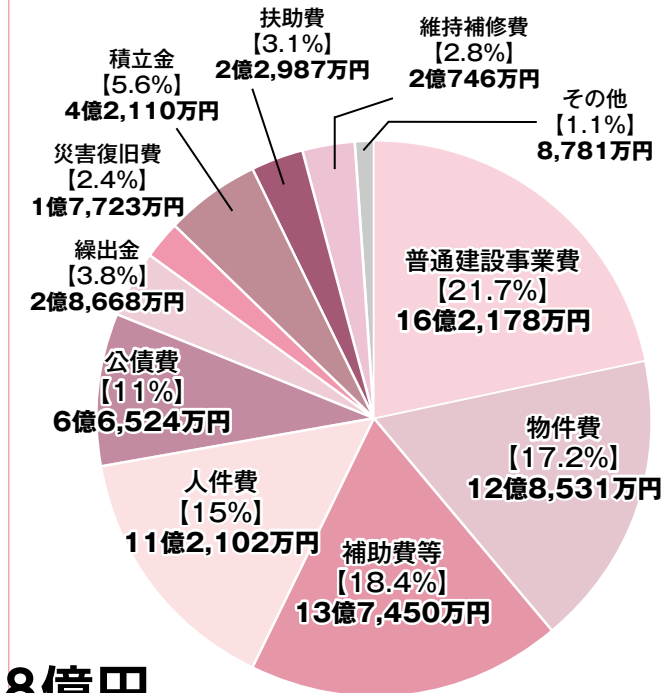
## 予算を認めるか否かの6原則+1

- ① ニーズベース（対話により要望を確認）
  - ② 地域課題の解決（町や地域の課題解決に結びつくか）
  - ③ 町内の資金循環・経済効果（町内にお金が行き回っているか、予算額以上の効果があるか）
  - ④ 関係人口の拡大（観光客以上移住者未満の西川ファンが増えるか）
  - ⑤ 持続可能性（事業継続ができる無理のない政策か、将来的に民間主導の事業にできるか）
  - ⑥ 財源確保（国、県、民間補助金で申請（挑戦）できる財源はないか）
- + 情報発信（事業の完了は、情報を町内外へ発信するまで）

## 一般会計歳入



## 一般会計歳出



74.8億円

○国庫支出金(国からの補助金等):アイデア勝負の補助金獲得などを見込み前年度比1.7億円増の11億7,800万円

○地方交付税(どの市町村も一定のサービスを行えるよう国から交付される資金):これまでの交付実績や地域おこし協力隊、集落支援員等の大幅な増加により5.0億円増の28億5,000万円

○普通建設事業費(工事等):月山湖のカヌーの拠点として、月山カヌービレッジ整備事業や水沢温泉館浴槽水ろ過装置更新事業などにより前年度比3億9,800万円増

## 対話に基づいた予算編成（主な事業）

月山カヌービレッジ整備事業	6.9億円
町立病院の赤字補てん費用	3.1億円
除雪事業、除雪機械購入事業	2.6億円
集落支援員・地域おこし協力隊事業	1.6億円
水沢の宿泊付き食堂事業	1.2億円
高円寺出店・保育園留学等関係人口事業	1.1億円
町の保健室・月山リフト下えき整備事業	0.7億円
高齢者支援強化事業	0.5億円

事業の詳細は5月号に掲載します。



▲水沢区長から、水沢に宿泊機能付き食堂の建設について要望をいただきました





# タブレット「つながるくん」の配布率が95%に!

## ～誰一人取り残さない社会を目指して～

町では、誰一人取り残さない社会を目指し、防災を目的に、タブレット「つながるくん」の配布を行っています。

この度の「つながるくん」配布事業は、町の一般財源を使用せず、国の補助金の他、ふるさと納税を活用して導入することができました。この補助金は、町民の皆さまにマイナンバーカード申請にご協力いただき、全国6位の普及率を達成したことでいただくことができました。マイナンバーカードを70%以上獲得した自治体しか挑戦できない補助金を申請し、内閣官房から1億円以上の財源を確保しました。また、運営の経費も総務省の補助を得て、町の支出はないように工夫しています。

何よりも、タブレットがあることで、今後、国が進めるデジタル田園都市の実現に向けた交付金を得られ、デマンドタクシー支援、福祉バスの利用緩和、免許返納者へのタクシー支援、人工透析患者の交通費補助を拡大することができます。

現在、「つながるくん」の配布率は町内全体で97%（4月9日現在）です。まだ連絡の取れていない世帯には、各地区の区長様よりご協力をいただき、連絡しています。まだ連絡の取れていない方は下記の番号へぜひご連絡をお願いします。

●タブレット受取調整連絡先 ①080-9258-0499 ②080-8085-5606

### ●各地区配布率（4月9日現在）

配布率	区数	区名
100%	5	水沢、原、入間、小山、本道寺
90%以上	8	睦合、海味、間沢、綱取、岩根沢、吉川、沼山、大井沢

### ■「つながるくん」講習会に延べ900人の方からご参加いただきました!

デジタル推進員による「つながるくん」講習会を昨年度各地区で行い、59回開催し、延べ900人の方からご参加いただきました。新年度もご要望があれば講習会を開催いたしますので、ぜひお問い合わせください。

### 講習会参加者に聞きました!



清野丈夫さん  
(海味3)

タブレットは配布されてから毎日使っています。お知らせやインターネットで地図を調べたりしています。使ってみないと分からないと思うので、こういった講習会に参加しながら操作に慣れていくことが大切だと思います。教え方も分かりやすいです。

タブレットはまだそんなに操作しているわけではないですが、使っていて感じたのは、最初の画面で未読のお知らせが分かるとみやすいのかなと思いました。



清野正一さん  
(海味3)

LINEを見るみたいにタブレットを使っています。町の議会も見えています。自分だけでなく家族も使っていけるように教えていきたいと思っています。インターネットなどで自分が興味あることなどを調べられるようにしていきたいです。

講習会に参加してみて、分からないことが分かるようになったので良かったです。「使いこなす」まではいかないまでも、「使える」ようになりたいです。また講習会があれば参加したいと思います。

### 「つながるくん」Q&A

#### Q1. 「トップへもどる」ボタンがなくなった場合

A. 電源の再起動を行ってください。



#### Q2. 「ウェブページのアクセス不可」が表示され、画面が真っ白になる場合

A. 機内モードになっています。機内モードを解除してください。



画面の上から下に2回スワイプ（なぞる）するとクイック設定面が現れ、「機内モード」ボタン（飛行機マーク）がピンク色になっているのでタップ（押し）して黒くする

### 町からのお願い

毎日1回、町からのお知らせをお届けできるようにしています。ぜひご確認いただき、最後に「確認ボタン」を押していただきますようお願いいたします。



### 緊急時に備えて

先日、石川県幹部から連絡があり、タブレット購入と運営経費は、どのような財源を取っているか、どの財源で確保しているか、導入に向けて気を付けることがあるかなどをご質問いただきました。石川県では、1月の震災で、連絡を取ることができず、誰を助けるべきか、その支援すべき方がどこにいるのかが分からなくなり、ご苦労されたそうです。

「つながるくん」は、位置情報を確認することができたり、町から電話して安否確認をすることができる点が素晴らしいと評価いただきました。また、工夫している点として、今回の石川県のような状況になった場合に備え、「つながるくん」を持って避難いただけるよう、今後、防災訓練でも使うことで身近な存在となるようにしていくと回答しました。

【お問い合わせ先】 西川町企画財政課 つながるくん担当 阿部・渋谷  
Tel: 0237-74-4403  
mail: digital@town.nishikawa.yamagata.jp





## まちづくりNews

### 副町長に内藤翔吾さんが就任

4月1日より副町長に内藤翔吾さんが就任しました。  
内藤さんは、2015年に福井県職員となり、出向先の内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局で地方創生に携わってきました。  
就任にあたり「町民の皆さんや西川ファンの皆さんとの対話・関わりを大切に、ニーズベースの事業構築や関係人口の創出等を通じて、「すっだいこと」を実現する町づくりに尽力したい」と抱負を話しました。



▲内藤翔吾さん

### 古沢美代子さんが監査委員に就任

独立した行政機関であり、会計書類の点検や行政経営に関してチェック機能を果たす監査委員に古沢美代子さん（綱取）が就任しました。  
令和6年3月定例会で議会から同意を受け、3月8日に町長から辞令が交付されました。任期は4年です。



▲古沢美代子さん

### 除雪作業員の確保と働き方改革実現に向けて 西川町建設クラブと覚書を締結

2月28日、町は西川町建設クラブ（会長＝遠藤博良さん）と、暖冬対策や建設工事の工期柔軟化に関する覚書の締結式を行いました。建設業は全国的に人手不足が深刻化する中、災害発生時の復旧や冬期間の除雪を担っており、西川町にとって必要不可欠な職種です。今後、除雪作業を担う建設業者の処遇を改善し、人材の確保と新たな担い手に除雪スキルが継承されるような体制維持を目指します。

覚書には、降雪の状況に左右されず除雪作業員を安定的に確保し、十分な除雪体制を毎年維持できるように、暖冬による雪不足でも町が除雪業者に最低限の補償をすることが盛り込まれています。また、令和6年4月から時間外労働の上限規制が建設業界に適用され



▲締結式の様子

ることや、町が全国有数の豪雪地帯であることを踏まえ、「債務負担行為」を活用し、建設工事の工期を年度末にこだわらず、柔軟に発注を行い、工事の平準化を図ることも交わされました。  
※責務負担行為：1つの事業や事務が単年度で修了せず、後の年度においても「負担」支出をいなければならない場合にはあらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めていること。

### 企業版ふるさと納税寄附企業に 感謝状を贈呈

#### 株式会社キッツ様



（株）キッツ（本社：東京都港区）から企業版ふるさと納税を活用したご寄附をいただきました。  
3月14日、菅野町長より河野誠代表取締役社長に感謝状が贈られました。

▼寄附内容：浄水処理装置「アクアレスキュー」一式



▼寄附活用：中岫地区に設置予定

#### 株式会社ムトウ様



（株）ムトウ（本社：東京都千代田区）から企業版ふるさと納税を活用したご寄附をいただきました。  
3月26日、菅野町長より高橋弘行取締役社長に感謝状が贈られました。

▼寄附内容：骨伝導聴覚サポートデバイス4台

▼寄附活用：町立病院2台、保健センター1台、役場町民窓口1台設置

### 水沢温泉館の大広間・休憩室を リニューアルしました！

水沢温泉館の大広間・休憩室が、4月1日にリニューアルオープンしました。大広間のバリアフリー化やトイレのウォッシュレット化、Wi-Fi設備の強化により、町民や観光に訪れた町外の方との交流や憩い、テレワークの場としてより利用しやすくなりました。テレワーク施設と温泉やサウナを楽しむことができる温浴施設が一体となった施設は県内唯一であり、総合計画の各施策を実現するための重要な拠点となります。



▲リニューアル後の大広間

### 町立図書館の図書購入費として 西川町職員退職者会から5万円寄附

3月28日、西川町職員退職者会から5万円を寄附していただき、菅野町長に目録が手渡されました。  
同会会長の伊藤幸廣さん（睦合）は「町の図書購入費の一部として有効に活用していただきたい」と話しました。  
いただいた寄附金は、町立図書館の図書購入費として大切に活用させていただきます。



▲菅野町長へ手渡された



## まちづくりNews

### 助け合いの乗り合い交通 「フッカルにしかわ」運行を始めました！

3月から完全予約型の共助による乗り合い公共交通サービス「フッカルにしかわ」の運行を大井沢地区内で開始しました。大井沢区からご協力をいただき、ドライバーも利用者も区内の方で、大井沢温泉館を拠点施設とし、週4日の運行を実施しています。

運行にあたり、ドライバーの方には、大井沢温泉館で健康チェック等を行い、予約いただいた利用者の自宅にお迎えに行きます。

運行初日の3月2日には、3名の予約がありました。雪の降る中でしたが、安全運転で玄関先まで車を準備します。温泉館到着後、利用者はおしゃべりをしながらお茶を飲んだり温泉に入ったりして、温かい館内でゆっくりと過ごし、夕方に自宅に戻られました。

4月からは大井沢温泉館の営業時間も変わることから、便数を増やし運行します。大井沢診療所での受診や郵便局に行く時などにも気軽にご利用ください。



▲運行の様子



▲健康チェック

### まもなく第2弾

### AI謎解きゲームをリリース

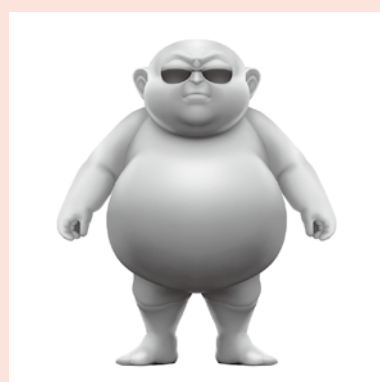
### 声優オーディションを開催

デジタル技術を活用した周遊型観光コンテンツとして、昨年から開発・実施する「AI謎解きゲーム」。その第2弾のリリースに向けて3月14日、ゲームの参加者がヒントを得るために視聴する動画への出演者オーディションを開催しました。

オーディションでは、ゲーム内のキャラクター「プニー」の声優を選考。参加者は、用意されたセリフによる演技と自由演技をし、思い思いの「プニー」を演じていました。

また、選ばれた声優の方には最新のモーションキャプチャー技術を活用し、「プニー」の動作演技も行っていたいただきます。

第2弾は、いよいよ4月26日に開始予定。第1弾の月山調査隊「古文書の謎と月読の宝」と合わせて、2つのAI謎解きゲームを町内巡りとともに楽しむことができます。



▲ゲーム内キャラクター「プニー」



▲オーディションの様子

### 電気通信大学と西川町が 積雪発電に向けて動き出す！

3月14日から15日にかけて、国立大学法人電気通信大学の榎木光治准教授とその研究生4人が西川町を訪れました。

榎木准教授とのご縁は、1月27日に秋田県で開催された東北気候変動適応フォーラムで「積雪発電の現在と展望」というテーマで榎木准教授が講演された際、同じく登壇していた菅野町長からの「ぜひ西川町で積雪発電を！」の一声で始まりました。その後、2月14日には菅野町長が電気通信大学（東京都調布）の榎木研究室を訪れ、積雪発電の研究を視察し、この度の訪問につながりました。

榎木准教授は、既に雪を活用した発電の実証に成功しており、実用化に向けた更なる研究を地域課題解決や地域活性化に貢献しながら協力できないか、菅野町長と話し合いました。

3月21日には、町への移住を検討している学生が訪れ、地域の人の温かさなどに触れ、移住の決断に至りました。



▲活発な意見交換を行いました

今後は、連携協定を結び榎木研究室の分室として、数名の研究生などが西川町に移住し、地域おこし協力隊などとして活動を行う予定です。

※積雪発電：高温熱源と低温熱源の温度差による発電であり、低温熱源として雪を活用するもの。

### 西川町のデジタル化を推進するため

### 地域活性化起業人として委嘱状を交付

町は、シースリー・アイ(株)（本社：東京都世田谷区、宮澤正恭代表取締役）と派遣協定を締結し、九島正広さんと山口真さんの2名を地域活性化起業人に委嘱しました。九島さんにはDX推進アドバイザーとしてデジタル人材育成に関する、山口さんからは自治体情報システムの標準化・共通化に関する業務の進行管理について、それぞれ指導、助言をいただきます。



▲左から宮澤代表取締役、山口さん、九島さん

### 株式会社BEYOND AGEと 包括連携協定を締結

町は(株)BEYOND AGE（本社：東京都中央区、代表取締役：市原大和）は、シニア人材を活用した中小企業支援及び地方創生を進めるため、3月25日、包括連携協定を締結しました。

今後、双方の資源や人材を活用した協働によるまちづくりを推進し、町の活性化と町民サービスの向上を目指します。



▲締結式の様子



# 地域とともに歩む西川町立病院

## 町立病院が生き残れるかどうかは 令和9年度に判断します！



4月のとある午後診療時間、待合室には誰の姿もありませんでした。

今号は、3月末に策定した「西川町立病院経営強化プラン」の中から、町が重要な課題として捉えている病院事業の収支と、その状況を踏まえた町立病院の今後の方向性に関する考え方を紹介します！

## 重要！ 町立病院の診療所化を検討

- 町立病院は、これまで、人口減少等により収益が下がる一方、病院会計に一般会計から3億円弱を繰入れて、なんとか黒字化を維持してきました。
- しかし、コロナの補助金がなくなる令和5年度以降は、黒字化するのに一般会計から4億円弱を繰り入れることとなります。これでは町の財政を圧迫することから、今年度より、一般会計繰入の限度額を3億円とし赤字運営にします。累積赤字を抱えながらも国が求めている令和9年の黒字化を目指しますが、計画通り進捗しなければ、病院の診療所化を検討せざるを得ません。
- 町としては、唯一の医療機関としての町立病院を維持するために、この危機感を町民の皆さまと共有し、病院をご活用いただき、計画を実行させたいと考えます。

### 5年度収支がマイナスになる理由は？

- ①入院や外来などで町立病院を利用する人が減っているから。
- ②町立病院を利用する人が減ることで収益も少なくなっているから。
- ③医療提供に必要な医業費用が増えたから。
- ④4年度はコロナ対応に関する補助金（約7000万円）のおかげでかろうじて黒字になっていたから。

### 【収益的収支の推移と今後の計画】

(単位:百万円)

年度(令和)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
収益	733	634	681	680	690	771
コロナ補助金	71	—	—	—	—	—
支出	717	750	759	769	771	771
純損益	16	▲116	▲78	▲89	▲81	0

※令和4年度の金額は実績値

※令和5年度は経営強化プラン策定時の見込額

## 経営の厳しい今だからこそ、ご利用ください！

町唯一の医療機関である町立病院を守り、維持するため、私たちは経営の厳しい今だからこそ様々な取り組みに挑戦しますので、町民の皆さまもぜひご協力をお願いいたします。



西川町立病院  
経営強化プラン

## 約束とお願い

- 町民の皆さまの「かかりつけ医」になります。
- 相談や苦情には迅速かつ丁寧に対応します。
- 健診や予防接種は町立病院をご利用ください。

ご意見箱

アンケートボックス

ご意見箱は会計窓口左側に  
置いています。

## 病院トピックス

### 武田院長が 地域医療貢献奨励賞を受賞！

このほど、武田隆院長が、長年にわたり、献身的に地域医療に取り組み、医療水準の向上に寄与されたことを高く評価され、「第17回地域医療貢献奨励賞」(一般財団法人住友生命福祉文化財団)を受賞しました。

武田院長は、平成4年に町立病院に着任後、通算31年間にわたり、診療や保健健診事業等に尽力されています。

#### 【武田院長コメント】

西川町立病院に赴任して32年目になります。わが町は開業医不在にて町立病院が唯一の医療機関です。これからも町民の医療の岩を守るために、老骨に鞭打ちながら、頑張っていきたいと思います！



武田 隆 院長

### 豊かな自然が大好きな 山川先生が着任！

4月から山川洋平先生が内科医員として着任いたしました。先生は山形市のご出身で、これまで山形県立中央病院や公立置賜総合病院、小国町立病院で内科医／消化器内科医として勤務されてきました。

#### 【山川先生のコメント】

自然豊かな場所が好きで私にとって、西川町での勤務が非常に楽しみでワクワクしています。またサウナも有名だと聞いたので、ぜひ訪れてリフレッシュしたいです。病院では胃カメラや大腸カメラも担当します。皆さまの負担にならないような検査、診療を目指し、同じ目線で健康管理ができるように精一杯頑張ります。よろしく願いいたします。



山川 洋平 先生



## 介護保険

### 第9期介護保険料段階区分

区 分	月 額 (円)
第1段階	2,275 (1,425)
第2段階	3,425 (2,425)
第3段階	3,450 (3,425)
第4段階	4,500
第5段階	5,000
第6段階	6,000
第7段階	6,500
第8段階	7,500
第9段階	8,500
第10段階	9,500
第11段階	10,500
第12段階	11,500
第13段階	12,000

※( ) 内は低所得者軽減措置後の月額基準額

現在の介護保険制度は、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築が求められます。

今後、85歳以上の人口が急増すること、医療・介護のニーズを有する要介護高齢者が増える一方、生産年齢人口は急激に減少することが見込まれており、要介護認定率の増加、介護給付費の急増、認知症高齢者の増加、介護人材の不足等が考えられます。

また、地域の高齢者介護を支える人的基盤の確保や各地域の状況に応じた介護サービス基盤

の整備を行い、持続可能な保険制度の確保に向けた早急な対応が必要となっています。

これらの状況を踏まえ、町は令和6年度から令和8年度までの3年間における高齢者福祉施策に関する基本方針や事業展開、介護保険制度の基本となる各種サービス見込量等を定めるものとして、西川町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定しました。

この計画に基づき、保険料基準(第5段階)月額を5,000円とし、国の指針に則り保険料段階区分をこれまでの9段階から13段階に見直し、高所得の方と低所得の方それぞれから応分のご負担をいただく考えです。

介護保険料基準月額をこれまで同様5,000円に据え置きます

### 西川町国民健康保険被保険者 10個の健康課題

①県と比較して糖尿病や腎不全の被保険者が多く、増加傾向にある。
②生活習慣病重症化リストのある被保険者が県と比較して多い。
③65歳以上で、フレイル(虚弱)の疑いのある被保険者が多い。
④脳血管疾患の死亡割合が県と比較して高く増加傾向にある。
⑤生活習慣病対象者は被保険者の半数を占め、高血圧の方が多い。
⑥特定健診受診は県平均より高いが、未受診者が固定している。
⑦特定健診を継続して受診している被保険者の年間医療費が低い。
⑧1人当たりの医療費、受診率が県や国と比較して高い。
⑨メタボリックシンドローム該当、予備軍該当の割合が県より高い。
⑩積極的支援実施率は下降し、県と比較して低い。

本町では、令和6年3月に第2期の計画期間が終了するため、国民健康保険における地域特性の分析と健康課題の把握を実施した上で、令和6年度以降の効果的かつ効率的な保険事業や特定健診等の実施に向けた「第3期データヘルス計画及び第4期

特定健康診査等実施計画」を策定しました。

この計画に基づき、左の表の10個の健康課題を踏まえ、各事業に個別の評価指標を設定し、継続的な進捗と成果の評価により、効果的かつ効率的な事業を実施して、被保険者の健康の保持増進を図っていきます。

## 国民健康保険

平成25年から、全ての健康保険組合は、レポート(医療報酬明細)等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成などを求められ、市町村の国民健康保険も同様の取組を行っています。

### 個別評価指標

評価指標	R4実績 →R11目標
特定健診診査実施率	61.1%→70.0%
特定保険指導実施率	61.8%→65.0%
HbA1c5.6 以上の割合	41.9%→40.0%

※ HbA1cは糖化ヘモグロビンの割合を表したもので、過去1~2ヶ月前の血糖値を反映するため、当日の食事や運動など短期間の影響を受けない。

効果的かつ効率的な事業で健康の保持増進を目指します

# Congratulations!

～おめでとうございます～

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

※敬称略

## 山岳救助への協力に対し感謝状贈呈

3月19日、寒河江警察署、西村山広域行政事務組合消防本部から、志津地区の今野信秋さんと今野和久さん、山岳スキーガイドの石沢孝浩さん3人に感謝状が贈呈されました。

3人は2月に発生した月山での救助の際に、スノーモービルや雪上車による救助隊の輸送協力、救助地点までの誘導など、多大なご尽力をいただきました。

今野信秋さんは「常に月山の救助事業にはできる限り協力してきている。救助というものは自分の命を二の次にしてでも向かわなけ

ればならないという思いもある。今後でもできる限り協力していきたい」と話しました。



▲左2番目から石沢孝浩さん、今野和久さん、今野信秋さん

## 西川中男子バレーボール部が10年ぶりの優勝！ 第54回山形県中学校バレーボール選抜大会

2月24日、25日に第54回山形県中学校バレーボール選抜大会が山形県総合運動公園体育館で開催されました。各地区予選会などを勝ち抜いた24チームが出場する中、西川中男子バレーボール部が10年ぶり4回目の優勝を果たしました。

Ⅱ成績Ⅱ	VS 山形二中	2 0
準々決勝	VS 榊引中	2 0
準決勝	VS 余目中	2 0
決勝	VS 山形八中	2 0



▲男子バレーボール部の皆さん

## 伊藤貢先生の 元気アップ！ 運動教室 PART309



今月のテーマ：

今の自分の状況にあわせた

適度な運動を行いましょう！

股関節の動きを整えましょう！  
立位で股関節回し(内回し)を繰り返しましょう！片脚10回程度



### ●注意点

- ①壁や椅子などにつかまり、安定した状態でいきましょう。
- ②体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
- ③可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください。

「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」(※)では、「高齢者」「成人」「こども」(身体を動かす機会が少ないこどもが対象)それぞれに身体活動に関する推奨事項があります。「高齢者」「成人」「こども」については、個人の生活習慣・生活様式・環境要因等の影響により、身体状況等の個人差が大きいことから、特定の年齢で区切ることは適当でないといわれています。

「高齢者」「成人」「こども」に共通する推奨事項は、座位行動(座りっぱなし)の時間が長くなりすぎないように注意することです。「高齢者」「成人」には、筋力トレーニングを週2~3日取り入れることも推奨されています。年齢で区切ることなく「今」の自分の生活や身体(体力)状況に応じて、自分にあった適度な運動で無理なく健康づくりをすすめていきましょう。

西川町では毎週水曜日の14時から西川町民体育館で「楽楽運動教室(奇数週)」、「ゆる楽運動教室(偶数週)」を定期的に開催しています。健康づくりの専門家である健康運動指導士が教室を担当します。個別で運動に関するご相談も承ります。自分に合う運動を確認する機会としてもご利用ください。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

参考・引用資料

(※)厚生労働省「身体活動・運動の推進 健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」  
2023 <https://www.mhlw.go.jp/content/001194020.pdf>



## 保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子
- 緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子



▲入園式の様子



## 保育園コーナー

### にしかわ保育園の新しい年度がスタート

今年は9人の新入児と1人の途中入園児が、元氣いっぱい笑顔を見せてくれました。保護者の皆さま、地域の方々とともに、西川町の宝となる子どもたちの成長を、守り育んでいきます。

生きる力いっぱいいのぶなの木のように、たくましく、優しい子どもになあれ。

## 地域おこし協力隊通信

### ご挨拶！

### 西川町の歴史と文化に魅せられて

倉石早季

西川町の皆さん、こんにちは。昨年の11月から西川町歴史文化資料館で学芸員として働いている倉石と申します。北海道の美幌町出身です。

まず何よりも、至らない点が多くあるにも関わらず、移住当初から町民の方々には良くしていただいて、本当に感謝申し上げます。町民の方から伺える昔話が一番勉強になっていきますし、今聞かないと後世に遺せない話が数多くあると感じています。資料館には閉館中でも清野館長を訪ねてくる方が多く、貴重な話を伺える機会が多くあります。また、西川町の古文書の8割は翻刻されていません。清野館長は一人で編纂作業を行っていて、本当に尊敬しています。

ドの上手な管理人さん達や、食べるだけで元気がもらえる料理を提供するかわどい亭のお母さん方と、大変恵まれた環境で勤務させていただいています。普段は資料の調査、整理、保存作業、そして今年度オープンに向けて展示準備を行っています。西川町は区ごとに異なる歴史と文化があり、こんなに面白い町で働けることを心から嬉しく思っています。雪も融けて参りましたので、春からは範囲を広げてもっと多くの方の話を伺って、西川町全体の人々に興味を持ってもらえる展示が作れるよう、調査に努めて参りたいです。未熟者ですが、何卒よろしくお願いいたします。



▶5月1日(水)開催 特別展「月山の過去―移転集落の記憶―」

## 令和6年度の体制

子育て支援センター		令和6年度にしかわ保育園職員数				令和6年度クラス数		
副園長	1	32人 (会計年度任用職員・兼務含む)				園児数：79人		
保育係主任(兼)	1	園長	1	主任調理師	3	年長	そら	16
管理栄養士(兼)	1	副園長	1	業務員	1	年中	たいよう	17
保健師(兼)	1	保育係主任	1	ALT	1	年少	かぜ	23
主任保育士	1	主任保育士	5	管理栄養士(兼)	1	2歳児	あかいほし	15
保育士	1	保育士	7	保健師(兼)	1	1歳児	あおいほし	7
パート	1	保育士補助	4	早番パート	2	0歳児	きいろいほし	1
		遅番パート保育士	1	遅番パート	3			



▲令和5年度の「ぽっかぽか」の様子

## ぽっかぽかコーナー

### 今年度もよろしく願います

子育て支援センターぽっかぽかは子育てをする皆さんの応援団です。今年度もよろしく願います。

## 図書館さ、いぐべ〜。

お問い合わせ  
西川小学校図書館 ☎85-0077

### ■ポップアップ絵本展を開催します

※ポップアップ絵本…飛び出す絵本のこと。

4月23日から5月12日は「こどもの読書週間」です。これにあわせて図書館では「ポップアップ絵本」展を開催します。およそ30冊のポップアップ絵本としかけ絵本を展示し、一部の絵本は読むこともできます。5月末まで開催予定です。



### ■4月のおはなし会

日時：4月20日(土) 10時30分から

- ★ぎょうざがいなくなってさがしています
- ★とまとちゃんがね
- ★まいごのたまご
- ★ひよこちゃんがこんなになっちゃった

### ■山形新聞で図書館システムが紹介されました

図書館で導入している㈱YCC情報システムのICT技術が4月8日の山形新聞で紹介されました。ICT技術を活用することにより、本の検索、貸出が便利になり、子どもたちの学びが広がっています。また、マイナンバーカードを利用した貸出ができるようになりました。ぜひご利用ください。





皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。つなぐ課 町民つなぐ係  
0237-74-2112 tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信



▲運行当時の三山電車



▲開始式の様子

木造電車「モハ103」を修復しようと、三山電車保存会（古沢勝廣会長）が行ったクラウドファンディングに多くの方からご支援が寄せられ、目標金額を達成しました。

国内でも貴重な木造車両を未来に残そうと、1月15日にクラウドファンディングを開始。当初の目標金額850万円を1か月で達成。最終日の2月29日には約1520万円が集まりました。

今後、壊れた屋根、外装

## 「三山電車」の木造車両を修復へクラウドファンディング目標達成

のみならず、内装及び照明等の修繕費に充てられる予定です。工事は令和6年春から11月頃までを予定し、その後は多くの人に見えていただけの場所への移設を検討していく予定です。

## 放課後子ども教室にしかわ

### ◆活動紹介◆

2月1日から2人、3月1日から2人、計4人の地域おこし協力隊インターン生が放課後子ども教室のお手伝いとして活動しました。町外から来たお兄さん、お姉さんにみんな興味津々！一緒に宿題をしたり教室や体育館で遊んだりしました。今後もインターン生を受け入れながら、子どもたちの交流の輪を広げていきます。



放課後子ども教室にご協力いただける方、子どもたちと一緒に活動したい持ち込み企画がある方など大募集中です！

【お問い合わせ】  
まなぶ課  
TEL：0237-74-2114

# TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

## 西川小3年生(新4年生)の提案が実現！

西川小3年生(新4年生)が総合的な学習の時間に町の自慢について調べ、それをもとに町づくりの提言をまとめました。1月に提言会が行われ、菅野町長や町職員、西川町総合開発(株)など、関係者の前で発表。この度、提言内容の一部が実現しましたので、ご紹介します。

### 山ぶどうアイスクリームを給食で提供

3月6日、山ぶどうアイスクリームが給食で提供されました。

「月山湖売店で販売されている山ぶどうアイスクリームを給食で提供」を実現。

子どもたちは「山ぶどうの味が美味しい」「また来年も食べたい」と話しました。



▲思いがけない山ぶどうアイスに大喜び

### 月山山菜そばをワンコイン(500円)で

3月31日、「山菜の日2024 出羽屋の感謝祭」の中で、月山山菜そばが500円で提供されました。西川小3年生が考えた、「子どもや高齢者でも食べられる量にし、値段は500円」を実現。

子どもたちは「食べやすい量で嬉しい」「美味しかった」「500円で食べられて嬉しい」などと話し、実現を喜んでいました。



▲山菜そばを味わう子どもたち

## 「土日の部活動」は「地域の活動」に

役場第二庁舎で3月20日、土曜日曜の中学校部活動の今後のあり方を検討する対話会が開催されました。会場には、各部活動の外部指導者やスポーツ少年団指導者、保護者、競技団体関係者等が集まり、種目別のテーブルに分かれて、現状の把握や持続可能な運営体制について話し合われました。

土曜日曜の中学校部活動は、教職員の働き方改革や多様化する子どもたちの活動環境を求めて、令和8年度までに活動の場を地域に置き換えることを目指して全国でその取り組みが進められています。

対話会では、テーブルごとに指導者確保の課題や、保護者の送迎、会費などについて整理・発表し、種目の垣根を超えて情報共有されました。



▲テーブルごとに整理・検討した内容を発表する参加者の皆さん

## 月山夏スキーに向けて月山志津線で除雪作業完了

4月12日の月山スキー場オープンに向けて、昨年11月より冬期閉鎖されていた一般道「月山志津線」の除雪作業が完了しました。

一般道「月山志津線」は、志津温泉から月山スキー場付近の姥沢駐車場へ続く道路です。

今シーズンは3月11日より作業を開始。ロータリ除雪車やブルドーザーなど計5台の重機が作業にあたり、5.4kmの区間を開通させました。



▲除雪作業の様子



# 令和6年度 職員体制

令和6年4月1日現在の職員体制を紹介します。

## 特別職

町長 菅野 大志  
副町長 内藤 翔吾  
教育長 前田 雅孝

## 総務課

課長 佐藤 俊彦  
課長補佐(総務担当) 阿部 健彦  
課長補佐(危機管理・管財担当) 工藤 誠

## 総務係

係長(兼) 阿部 健彦  
主任(兼) 齊藤 麻美  
主事(兼) 阿部 将平  
主事 柴田 歆那  
危機管理係  
係長(兼) 工藤 誠

## 町立病院

院長 武田 隆  
副院長兼内科医長 伊藤 淳一  
内科医員 山川 洋平  
医師(会計年度 須貝 昌博  
事務長 土田 里香  
病院付課長(兼) 大泉 健  
総看護師長 渡邊 敦子  
副総看護師長 土田久美子  
◆病院経営管理室◆  
室長 佐藤 尚史  
室付課長(兼) 大泉 健  
室付課長(兼) 荒木 真也  
室付課長(兼) 石川 朋弘  
薬局係長 佐竹 公子  
主任薬剤師 高橋彰次郎  
●臨床検査室  
臨床検査技師長 松田 美紀  
臨床検査技師 馬場 恵美  
●理学療法室  
理学療法室係長 逸見知佐子  
主任理学療法士 後藤 健  
●放射線科  
主任診療放射線技師 松田 純哉  
●給食担当  
給食係長 松田 敬子  
●事務係  
係長 飯野 晃  
主任 渡辺佐和子  
主任 最上 和政

主事 金子 成幸  
●管財係  
係長(兼) 工藤 誠  
主事 志田 征成

## 企画財政課

課長 大泉 健  
課長補佐(企画・財政担当) 松田淳一郎  
課長補佐(デジタル推進担当) 黒田 宜雄

## 企画係

係長(兼) 松田淳一郎  
主事 渡辺 亮太

## 財政係

係長 服部 敦嗣  
主事 白田俊太郎  
●デジタル推進係  
係長(兼) 黒田 宜雄  
主事 松田 皓史

## つなぐ課

課長 佐藤 晃  
課長補佐 片山 尚希  
●関係人口係  
係長(兼) 片山 尚希  
主任 和田美奈子  
主事 佐藤 大陽

主事 高橋香菜子  
●町民つなぐ係  
係長(兼) 片山 尚希  
主事 伊藤あずさ  
主事 若月 竜馬

## 町民税務課

課長 吉見 政俊  
課長補佐(町民窓口・税務担当) 木村 美穂  
課長補佐(生活環境担当) 飯野 香代

## 町民窓口係

係長(兼) 木村 美穂  
主事 木村 友紀

## 生活環境係

係長(兼) 飯野 香代  
主任 奥山 有美  
●税務係  
係長 設楽 敦  
係長(兼) 大泉 聡  
主任 小川 達也  
主事補 奥山 綾乃

## 会計室

会計管理者兼室長 松田 一弘  
室長補佐 白井由利子  
●会計係  
係長(兼) 白井由利子

## 健康福祉課

課長 荒木 真也  
課長補佐 白田まゆみ  
主任(兼) 阿部 真也  
●健康推進係  
係長 今野 康子  
主任 古澤 裕和  
主任保健師 佐藤 敦美  
主任 佐藤 葵

## 保険給付係

係長 伊藤和歌子  
主事補 大場 玲那  
●在宅支援係  
係長(兼) 白田まゆみ  
主事 三澤 涼太

## 地域包括支援センター係

係長 服部 祥子  
主事 前田 志穂  
保健師 佐藤梨花子  
●にしかわ保育園  
保育園長 菅野 陽子  
副保育園長(保育園担当) 高橋 直  
副保育園長(子育て支援センター担当) 土田 静子  
主任保育士 黒田 由紀  
主任保育士 山崎 良

## 書記(全員兼務)

阿部 健彦  
齊藤 麻美  
柴田 歆那

## 監査委員

書記(全員兼務) 飯野 勇  
飯野 晃一  
●農業委員会事務局  
事務局長(兼) 渡邊 永悠  
事務局長補佐 松田 喜弘  
●農地係  
係長(兼) 松田 喜弘

## 選挙管理委員会

書記長(兼) 佐藤 俊彦  
書記(全員兼務) 阿部 健彦  
阿部 麻美  
阿部 将平  
金子 成幸  
柴田 歆那

## 大井沢支所

支所長(兼) 佐藤 晃

## 議会議務局

事務局長 飯野 勇  
●議事係  
係長 鬼越 晃一

## 派遣

(一社)月山朝日観光協会  
奥山 純二  
秋山 宏幸

## 人事交流

農林水産省 工藤 健

## 退職職員

※カツコ内は元職名  
土田 伸  
〔会計管理者兼町民税務課長〕  
西谷加奈子  
〔町立病院 総看護師長〕  
志田 瑛紀  
〔建設水道課 主事〕

## 新規採用職員

中村静玖  
出身:間沢  
かせぐ課  
西川町の良さをたくさん  
発信できるように一生懸命  
頑張ります。どうぞよろし  
くお願いいたします。

谷畑智将  
出身:滋賀県  
湖南市  
観光課  
公務員として地域の皆さ  
まとの協力信頼を大切にし、  
西川町に貢献するため頑張  
ります。

●NFTサウナ係  
係長(兼) 渋谷 章吾  
主任 佐直 知紗  
主任(兼) 渡辺 桂太  
主事(兼) 鈴木 悠史

## 観光課

課長 柴田 知弘  
課長補佐 設楽 友弘  
主任(兼) 木島 優太  
●観光係  
係長 堀江 美穂  
主事 谷畑 智将

## 観光施設係

係長(兼) 設楽 友弘  
主事(兼) 鈴木 悠史

## 建設水道課

課長 眞壁 正弘  
●管理係  
係長 佐藤 康子  
主任 荒木 貴志  
主事 若月 渚

## 建設係

係長 宮林 成明  
主任 武田 純  
◆水道経営管理室◆  
室長 土田 浩行  
●上下水道係  
係長 庄司 耕太  
主任 村山 広大

奥山栞李  
出身:海味  
みどり共創課  
生まれ育った地で町民の  
皆さまと未来を想像し、創  
造できること、大変誇りに  
思います。よろしく願いま  
します。

大場玲那  
出身:山形市  
健康福祉課  
西川町の魅力を広め、町  
民の皆さまと西川町を盛り  
上げていけるよう頑張いま  
す。よろしく願いましま  
す。

佐藤梨花子  
出身:寒河江市  
健康福祉課  
4 月から保健師として働  
かせていただいています。  
町民の皆さまに寄り添い、  
健康な暮らしをサポートで  
きるように頑張ります。

馬場恵美  
出身:東根市  
町立病院  
より一層責任感を持ち、  
町民の皆さまの健康維持の  
お役に立てるよう日々精進  
してまいります。よろしく  
お願いいたします。



# 卒園・卒業おめでとうございます！

西川小学校



西川中学校



にしかわ保育園



## 今月の表紙

4月5日、西川中学校の入学式が開催され、真新しい制服に袖を通した23人の新入生が新しい生活をスタートさせました。新入生を代表して阿部ゆまさんが「不安や心配もありますが、23人で協力し、乗り越えていくので、先輩方、先生方、ご指導よろしく願います」と挨拶しました。



## 編集雑記

町長との対話会において、町広報紙に関するご意見をいただきました。ありがとうございます。町民の皆さんからの協力により、毎月発行できております。今年度も町民の皆さんの生活に寄り添う広報紙づくりに努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。(伊藤)



LINE

@nishikawa\_town



X

@nishikawatown



Instagram



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



4/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,256人 女 2,367人 計 4,623人 世帯数 1,799 ( )は前月比  
(-3) (-8) (-11) (±0)